

2019年1月4日

公開シンポジウム「地理総合」で何が変わるか」の開催について

1. 主催：日本学術会議地域研究委員会地球惑星科学委員会合同地理教育分科会
2. 共催：日本地理学会 地理教育専門委員会、災害対応委員会
3. 後援：地理学連携機構（予定）
4. 日時：平成31年3月21日（木）9:00～15:00
5. 場所：専修大学（生田キャンパス）
6. 分科会等の開催：なし

7. 開催趣旨：2022年度から高等学校の地理歴史科において、「地理総合」・「地理探究」が新設され、「地理総合」は「歴史総合」とともに必修修化となる。本公開シンポジウムでは、「地理総合」が導入されることによって、日本の地理教育はどのように変わるのかを議論する。そして、現場となる初等・中等教育だけでなく、教員養成を担う大学教育や関係省庁が取り組むべき様々な課題を整理し、新しい地理教育を今どのように推進すべきかを提案する。

8. 次第：

第一部 09:00-10:00（地理教育専門委員会）

テーマ：「地理総合」とは何か？

（主担当：地理教育専門委員会）【井田仁康・秋本弘章・浅川俊夫】

9:00- 9:10 「地理Aとの違い—中高の連続性」（趣旨説明）

井田仁康（日本学術会議特任連携会員、筑波大学人間系教授）

9:10- 9:35 「地理総合の特質と実践—地図/GISに焦点を当てて」

河合豊明（品川女子学院教諭）

9:35-10:00 「地理総合の課題と支援—地図/GISに焦点を当てて」

秋本弘章（獨協大学経済学部教授）・鈴木瑛莉（ESRI ジャパン株式会社）

第二部 10:05-12:00

テーマ：「地理総合」と防災：何をどう教えるか？

（主担当：災害対応委員会）【久保純子】

10:05-10:20 「地理総合で防災がどのように扱われるか」（趣旨説明）

久保純子（日本学術会議連携会員、早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

10:20-10:35 「ハザードマップをどう扱うか」

南雲直子（国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター専門研究員）

- 10:35-10:50 「地理院地図の活用法」
岡谷隆基（国土交通省国土地理院企画部研究企画官）
- 10:50-11:05 「自然地理的基礎をどう教えるかー課題と展望ー」
須貝俊彦（東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）
- 11:05-11:20 「地理総合を教えられる教員をどう育てるか」
村山良之（山形大学大学院教育実践研究科教授）
- 11:20-11:35 「地理総合で教えるべき防災とは」
長尾朋子（東京女学館教諭）
- 11:35-12:00 総合討論
（司会）久保純子（日本学術会議連携会員、早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

<昼食>

第三部 13:00-15:00

テーマ：「緊急提言ー『地理総合』で何が変わるか」

（主担当：地理教育分科会）【矢野桂司・井田仁康】

- 13:00-13:05 「地理総合で何が変わるか」（趣旨説明）
矢野桂司（日本学術会議連携会員、立命館大学文学部教授）、
井田仁康（日本学術会議特任連携会員、筑波大学教授）
- 13:05-13:20 「汎用・基盤的データの存続と地理教育」
橋本雄一（日本学術会議連携会員、北海道大学大学院文学研究科教授）
- 13:20-13:35 「『地理総合』における GIS に関する教員研修・教育実習」
小林岳人（千葉県立千葉高等学校教諭）
- 13:35-13:50 「中学校から高等学校『地理総合』への接続」
青柳慎一（久喜市立栗橋西中学校教諭）
- 13:50-14:05 「中高接続を踏まえた高校地理教育の工夫」
須原洋次（龍谷大学文学部教授）
- 14:05-14:20 「『地理総合』における自然地理と防災」
鈴木康弘（日本学術会議連携会員、名古屋大学減災連携研究センター教授）
- 14:20-14:35 「『地理総合』における国際理解とは」
岡橋秀典（日本学術会議連携会員、奈良大学文学部教授）
- 14:35-15:00 総合討論
（司会）矢野桂司（日本学術会議連携会員、立命館大学文学部教授）
- 15:00 閉会